

2013 年度

大阪大学大学院人間科学研究科修了生 及び
人間科学部卒業生の生活と意識に関する調査結果

2014 年 3 月 25 日 実施

配布数 205 回収数 183 (回収率 89 %)

(アンケート用紙は末尾に添付)

大阪大学大学院人間科学研究科 評価委員会

このアンケート調査は、本学部卒業生および本研究科修了生の在学中の生活と意識を明らかにするために行われた。アンケート用紙は平成 25 年度卒業式当日(2014 年 3 月 25 日)、人間科学部本館 51 教室で開催された学位授与式において式の出席者に配布され、室内で記入、退室時に回収された。

アンケートは学生自身、学生生活のこと、大学教育や学生支援、本学部・研究科に関する事項等、38 の質問項目から構成されている。

以下、アンケートの設問順に各問の集計結果を図表で示す。

問 1. 性別

表 1 回答者の性別

	人数	%
1. 女性	101	55.2
2. 男性	82	44.8
計	183	

問 2. 卒業、修了の内訳

表 2 回答者の卒業・修了内訳

	人数	%
1. 人間科学部	117	63.9
2. 大学院人間科学研究科 博士前期課程	55	30.1
3. 大学院人間科学研究科 博士後期課程	11	6.0
計	183	

問 3. 所属学科目／学系

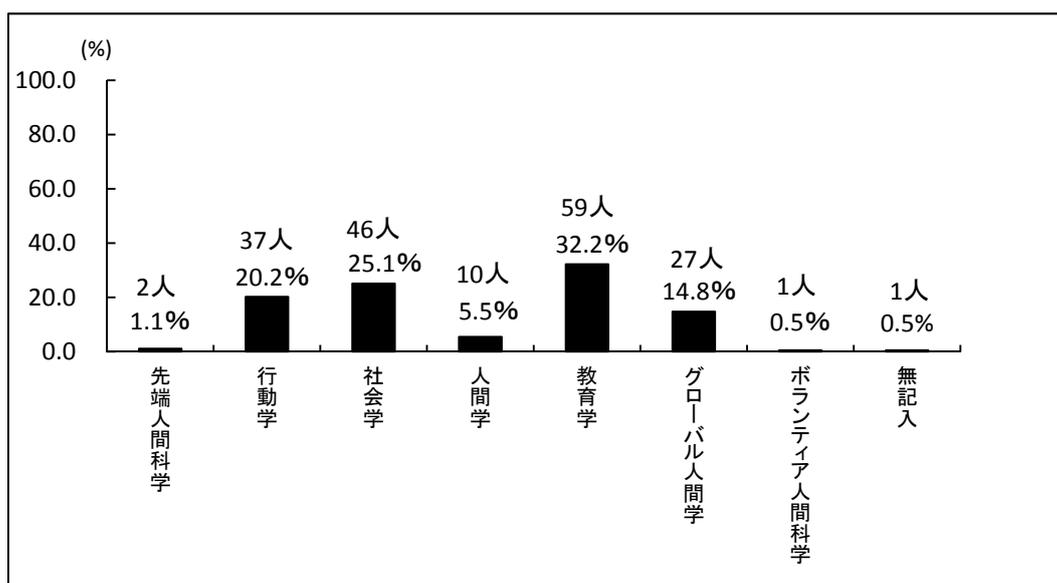


図 1 所属各科目／学系の内訳

問 4. 卒業・修了後の進路

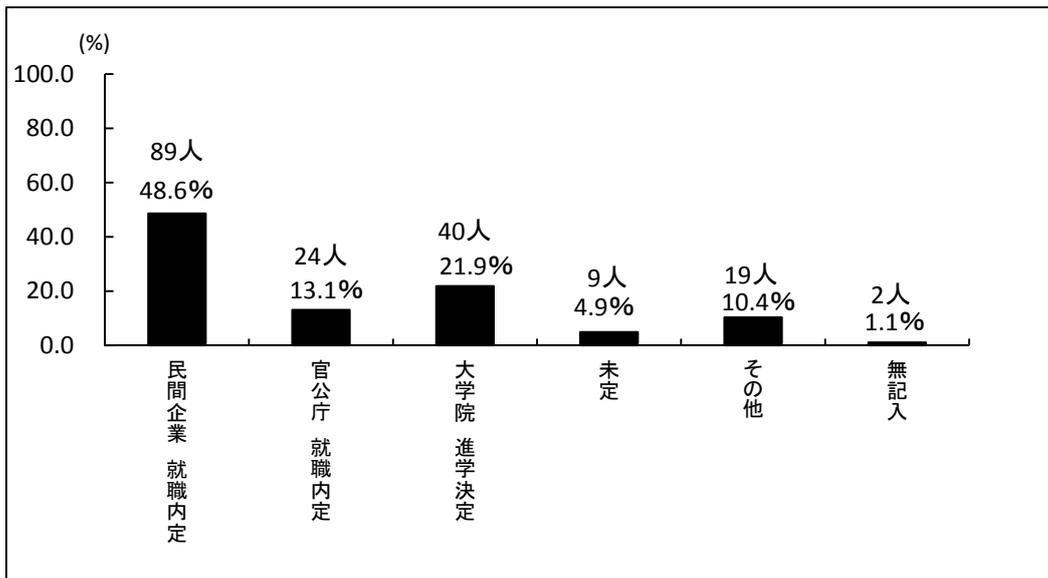


図 2 卒業・修了後の進路

学生生活または院生生活について

問 5. 本学部／本研究科を選んだ理由（複数回答可）

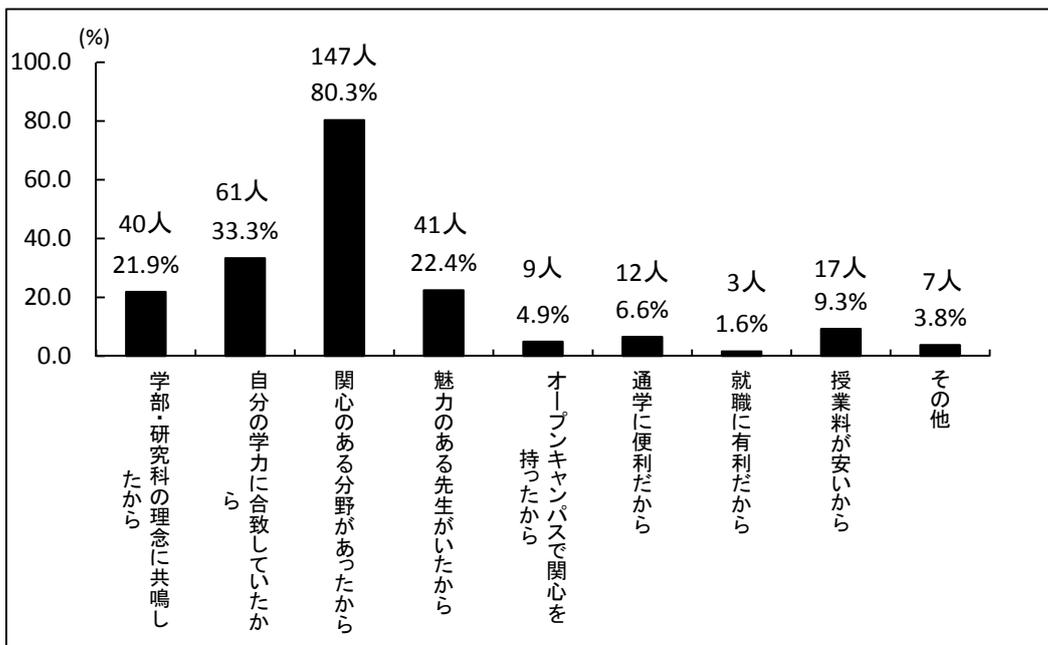


図 3 本学部／本研究科を選んだ理由

問 6. 入学前のオープンキャンパス参加状況

表 3 オープンキャンパス参加内訳

	人数	%
1. 参加した	51	27.9
2. 参加しなかった	132	72.1
計	183	

問 7. 学科目を決める時の情報について (学部卒業生のみ)

表 4 学科目の情報について

	人数	%
1. 十分与えられた	31	26.5
2. まあ与えられた	68	58.1
3. あまり与えられなかった	18	15.4
4. 全然与えられなかった	0	0.0
計	117	

問 8. 学科目の選択理由 (学部卒業生のみ/複数回答可)

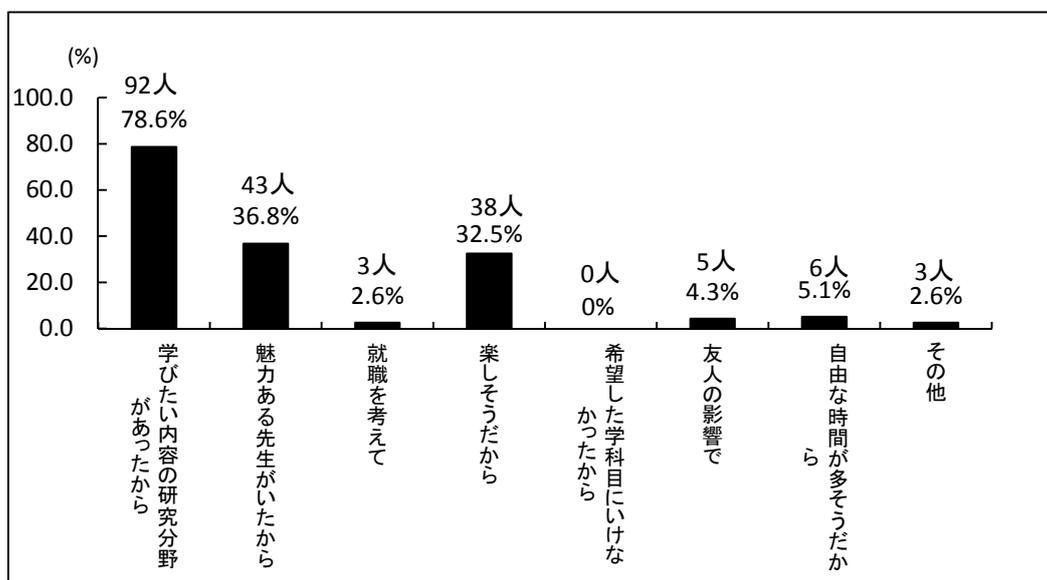


図 4 学科目の選択理由について

問 9. 学生（院生）生活で力を注いだ活動事項について

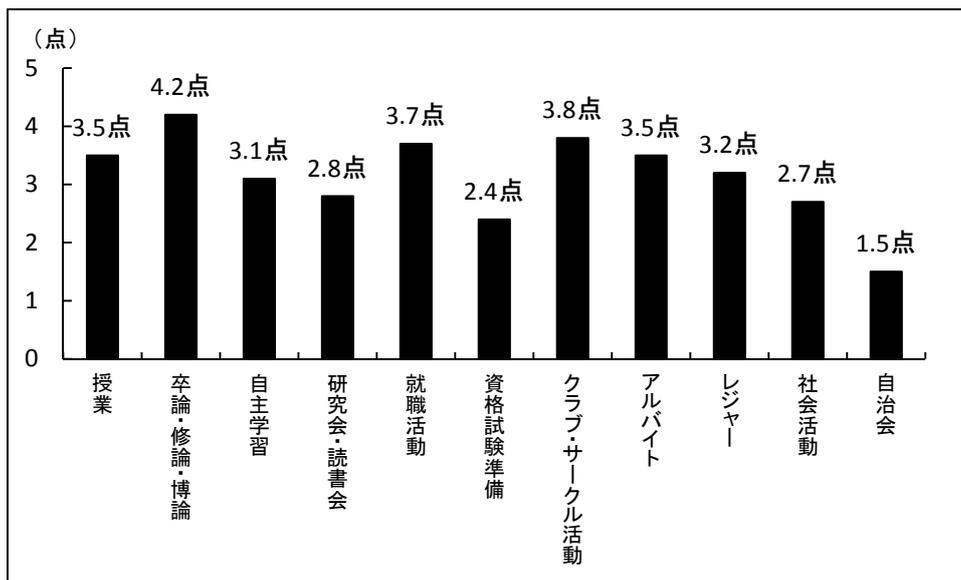


図 5 学生（院生）時代に力を注いだ活動事項

図 5 は学生／院生生活における 11 の活動事項に関して、それぞれの程度力を注いだかについて 評価を求めた結果の平均値である。「非常に力を注いだ」を 5 点、「まあ力を注いだ」を 4 点、「どちらともいえない」を 3 点、「あまり力を注がなかった」を 2 点、「力を注がなかった」を 1 点とした。平均値が高いほどその活動に対し力を注いだと評価されたことを意味している。

全学共通教育（豊中キャンパス）のカリキュラムについて

問 10～14 は編入生を除く学部卒業生のみが回答。該当者は 112 名。

問 10. 「教養教育科目」の必要性について（編入生を除く学部卒業生のみ）

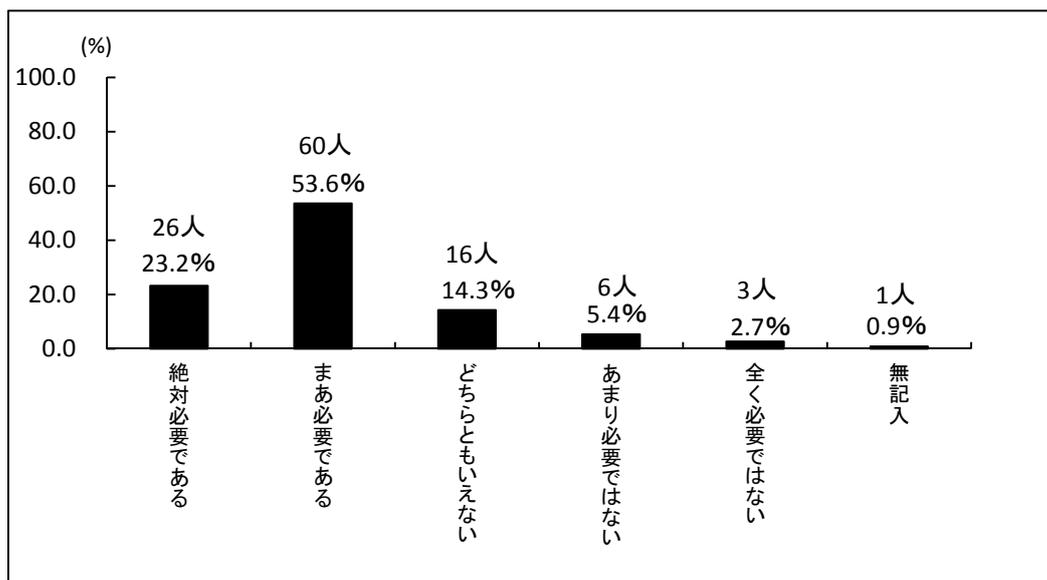


図 6 「教養教育科目」の必要性について

問 11. 「外国語教育科目」の必要性について（編入生を除く学部卒業生のみ）

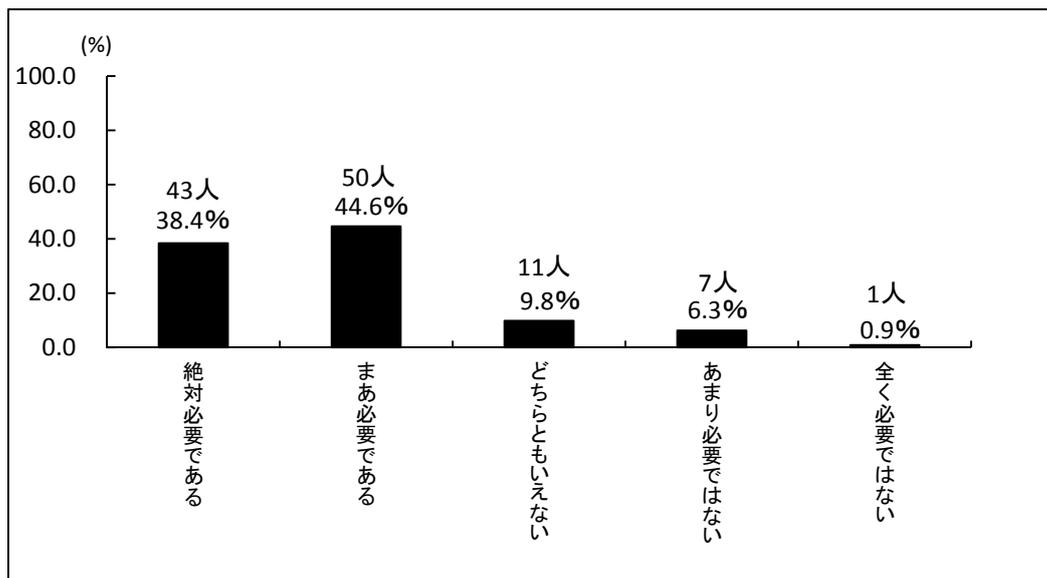


図 7 「外国語教育科目」の必要性について

問 12. 「情報処理教育科目」の必要性について（編入生を除く学部卒業生のみ）

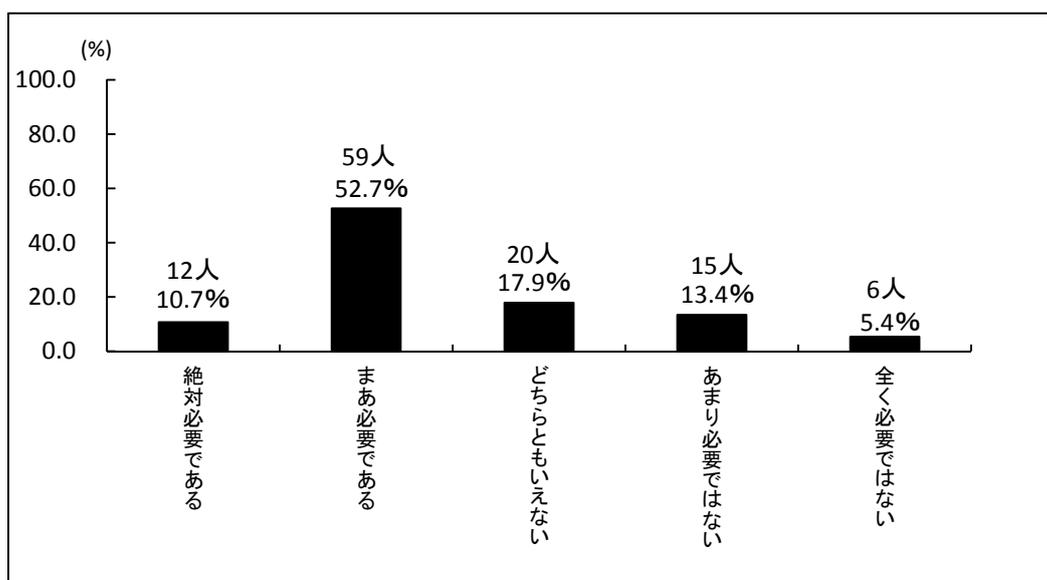


図 8 「情報処理教育科目」の必要性について

問 13. 「健康・スポーツ教育科目」の必要性について（編入生を除く学部卒業生のみ）

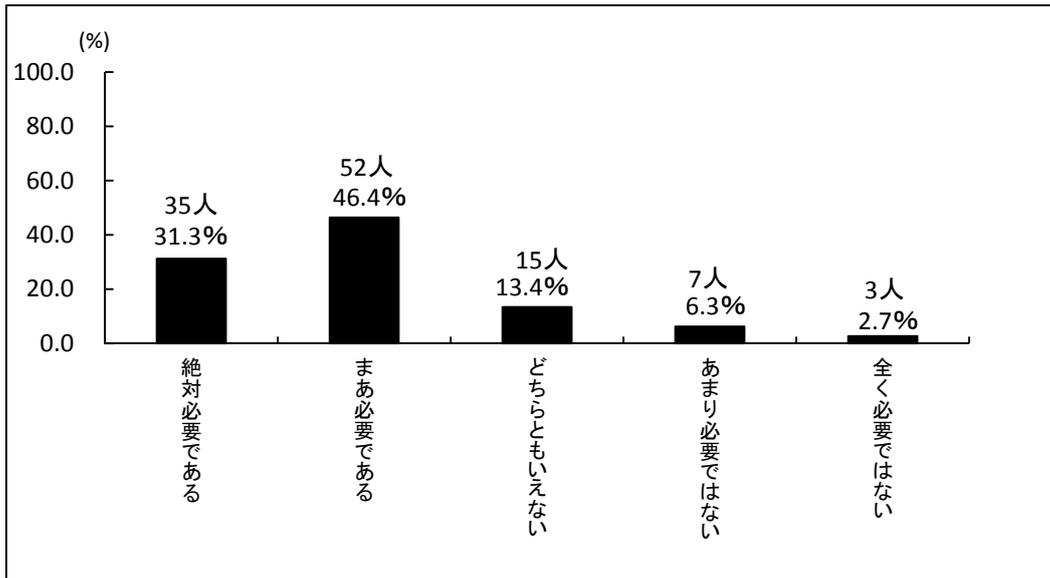


図 9 「健康・スポーツ教育科目」の必要性について

問 14. 「専門基礎教育科目」（統計学 A-I、統計学 A-II、数学 A、数学 B）の必要性について
（編入生を除く学部卒業生のみ）

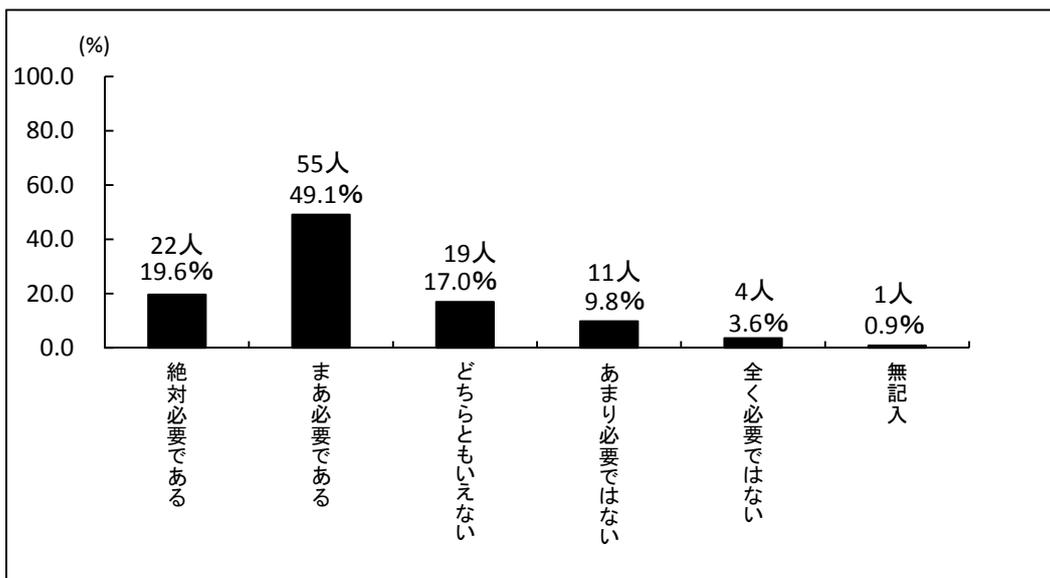


図 10 「専門基礎教育科目」の必要性について

専門課程（吹田キャンパス）のカリキュラムについて

問 15 は学部卒業生のみが回答。該当者は 117 名。

問 15. 「実験実習」の卒業に必要な単位数について（学部卒業生のみ）

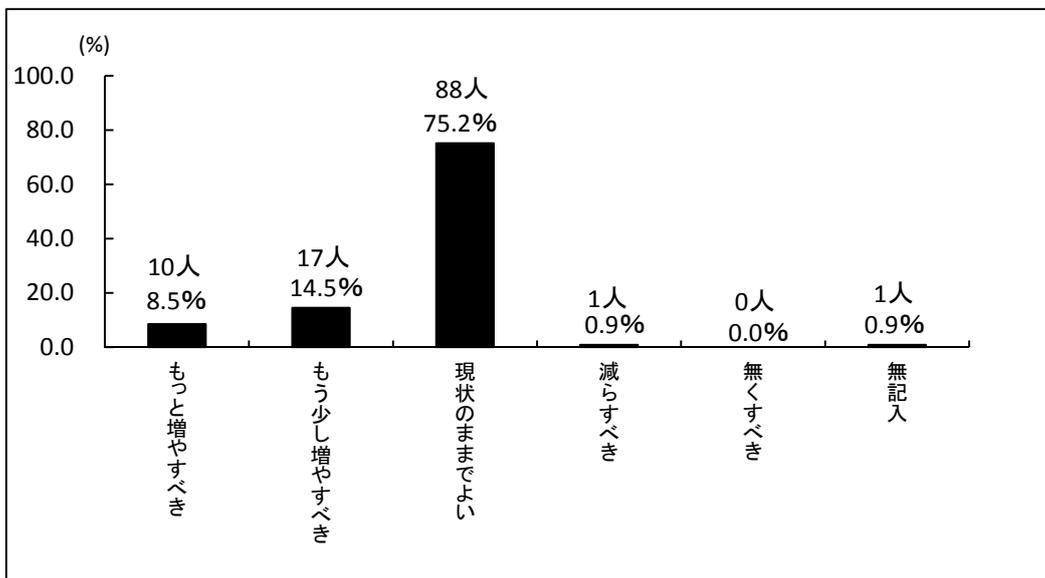


図 11 「実験実習」の単位数について

問 16. 「講義」の卒業に必要な単位数について

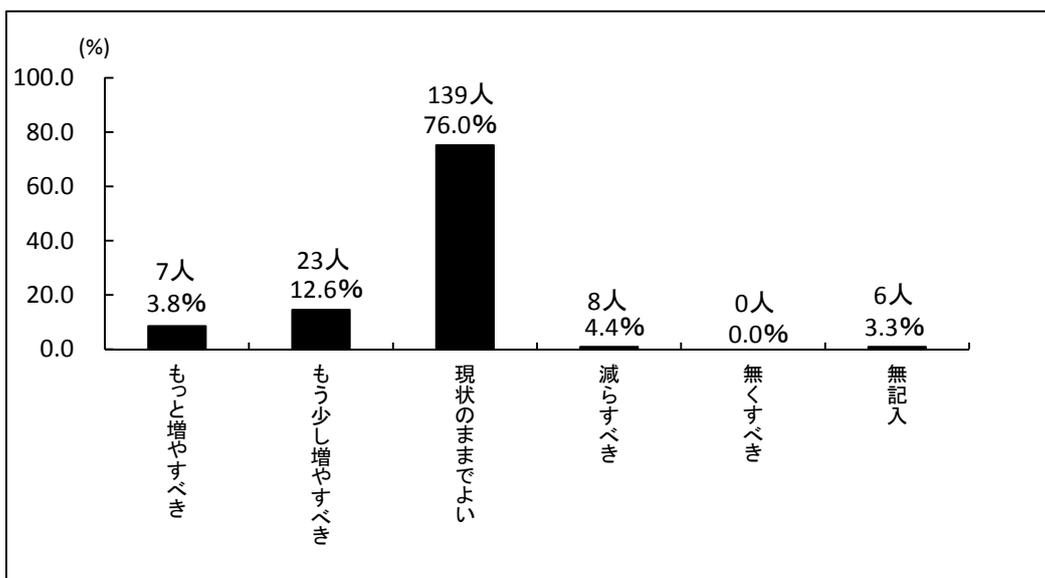


図 12 「講義」の単位数について

問 17. 「演習」の卒業に必要な単位数について

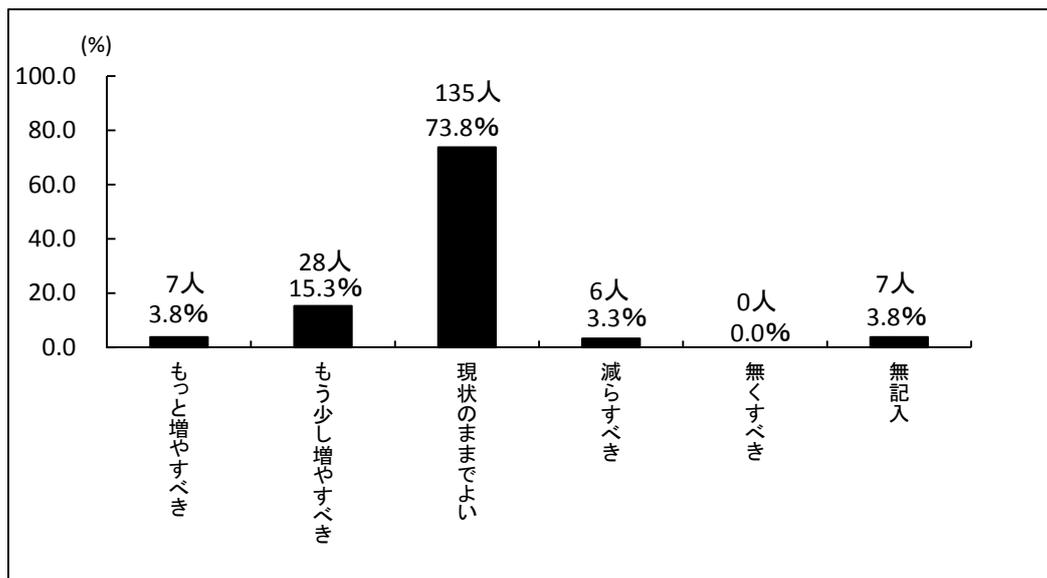


図 13 「演習」の単位数について

問 18. 卒業する為に、卒業論文または修士論文が必要になっていることについて

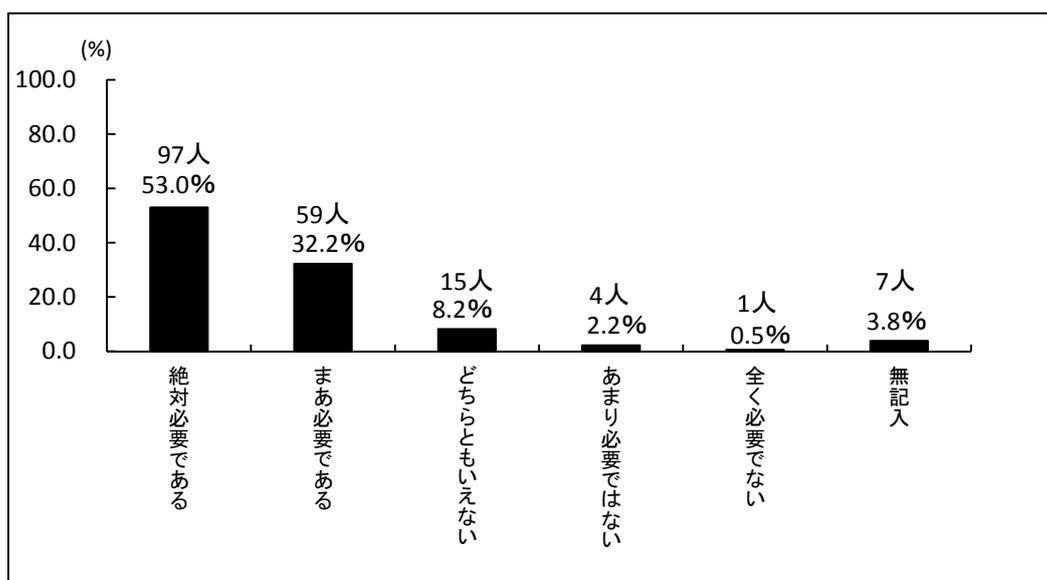


図 14 卒業論文または修士論文について

問 19. 卒業に必要な総単位数について

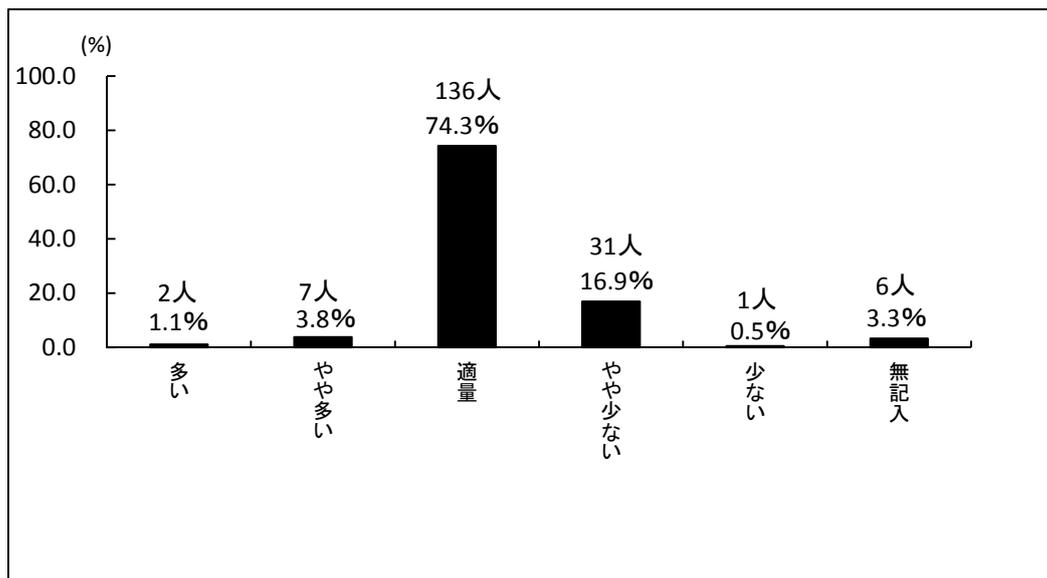


図 15 総単位数について

問 20. 本学部または本研究科で身に付いたこと（複数回答可）

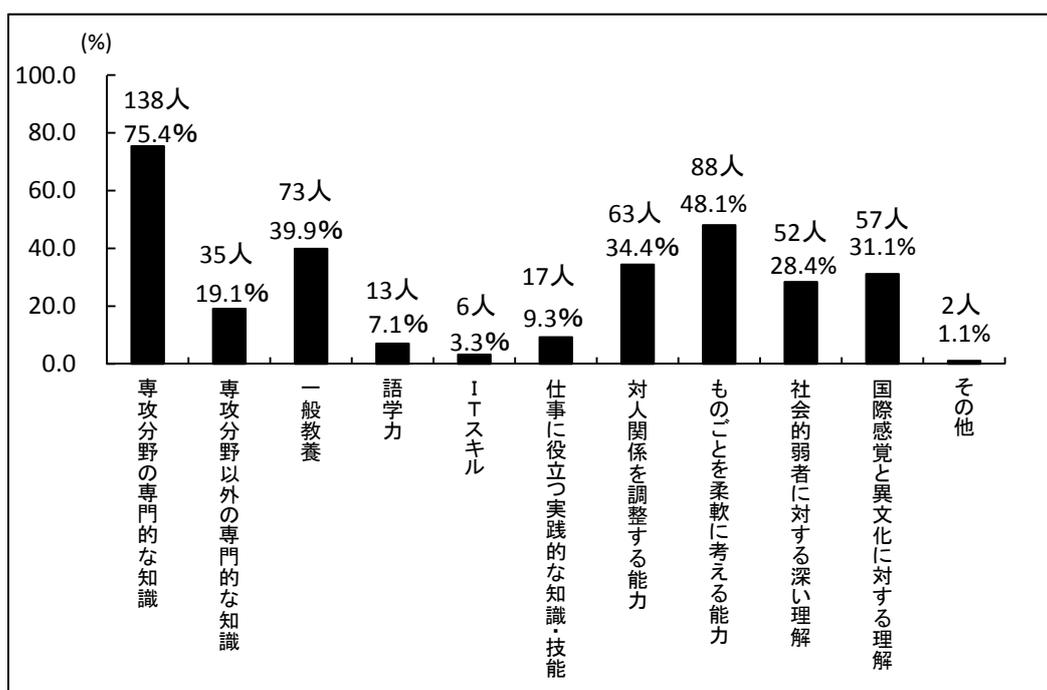


図 16 身に付いたことについて

問 21. 本学部または本研究科でもっと身に付けられると良いと思うこと（複数回答可）

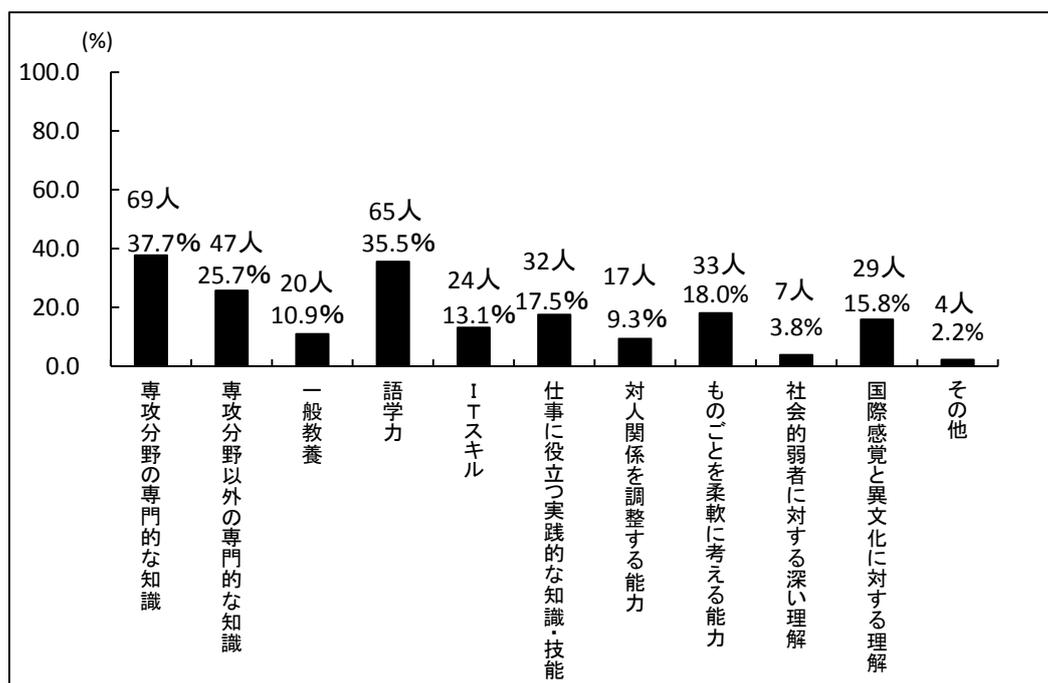


図 17 もっと身に付けられると良いことについて

インターンシップについて

問 22 .在学中、インターンシップに参加した状況

表 5 インターンシップ参加状況

	人数	%
1. 参加した	62	33.9
2. 参加しなかった	117	63.9
無記入	4	2.2
計	183	

問 23～27 はインターンシップに参加した人のみ回答（該当者 62 名）。

問 23 .参加した学年（参加した学生のみ／複数回答可）

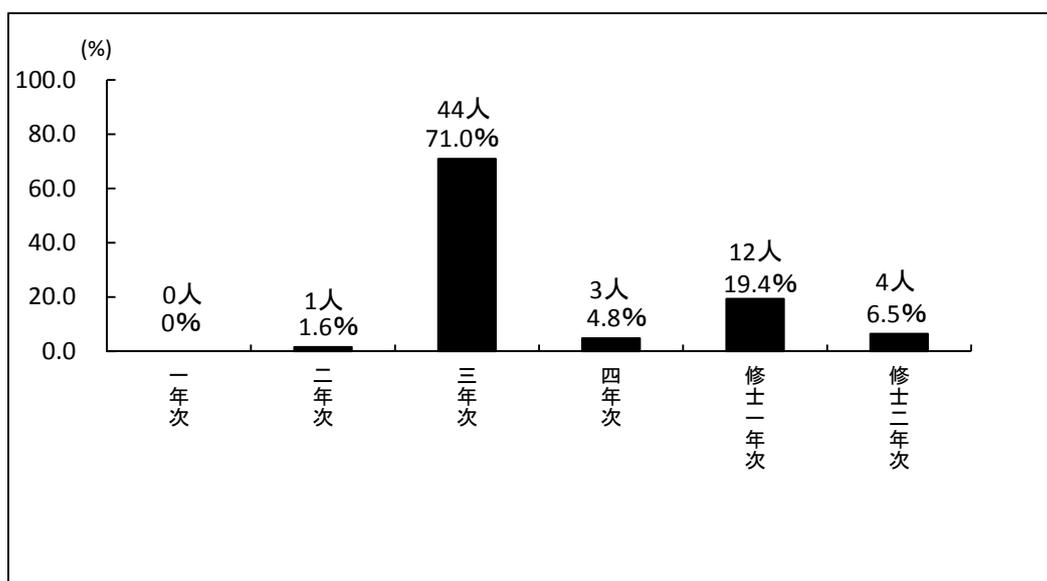


図 18 参加した時期について

問 24 .期間について（参加した学生のみ／複数回答可）

表 6 期間の内訳

	人数	%
1. 数日程度	18	29.0
2. 1～3週間程度	36	58.1
3. 1ヶ月以上	10	16.1

問 25 .受入先について（参加した学生のみ／複数回答可）

表 7 受入先の内訳

	人数	%
1. 一般企業	42	67.7
2. 官公庁	12	19.4
3. 非営利団体	11	17.7

問 26 .インターンシップ授業（インターンシップ A）等の履修について（参加した学生のみ）

表 8 履修の内訳

	人数	%
1. 履修した	36	58.1
2. 履修しなかった	26	41.9

問 27. インターンシップは就職活動や進路決定に役立つかについて (参加した学生のみ)

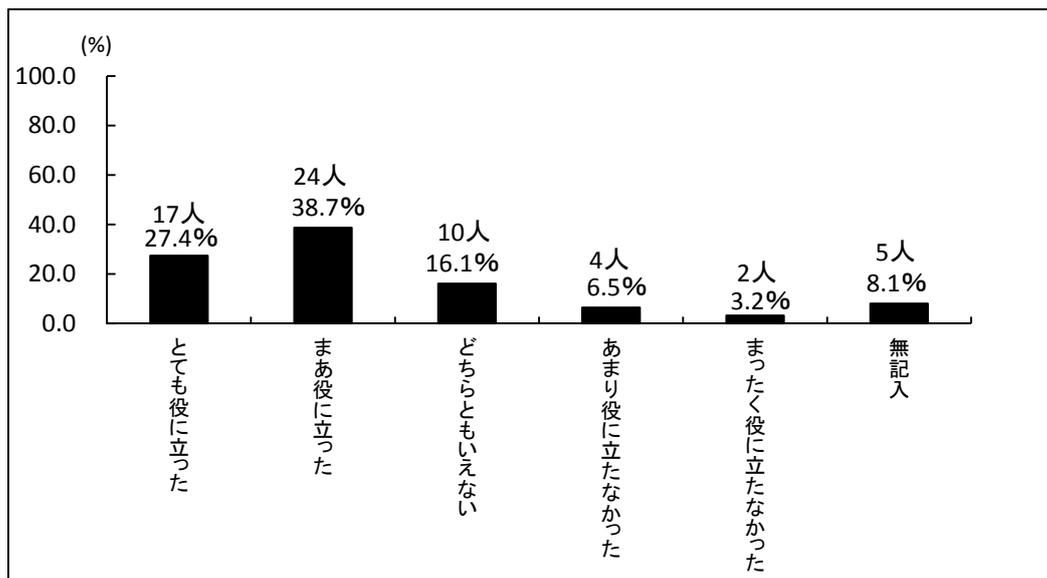


図 19 インターンシップの役立ちについて

問 28. キャリアを考える様な授業が、カリキュラムに組み込まれる必要があるか

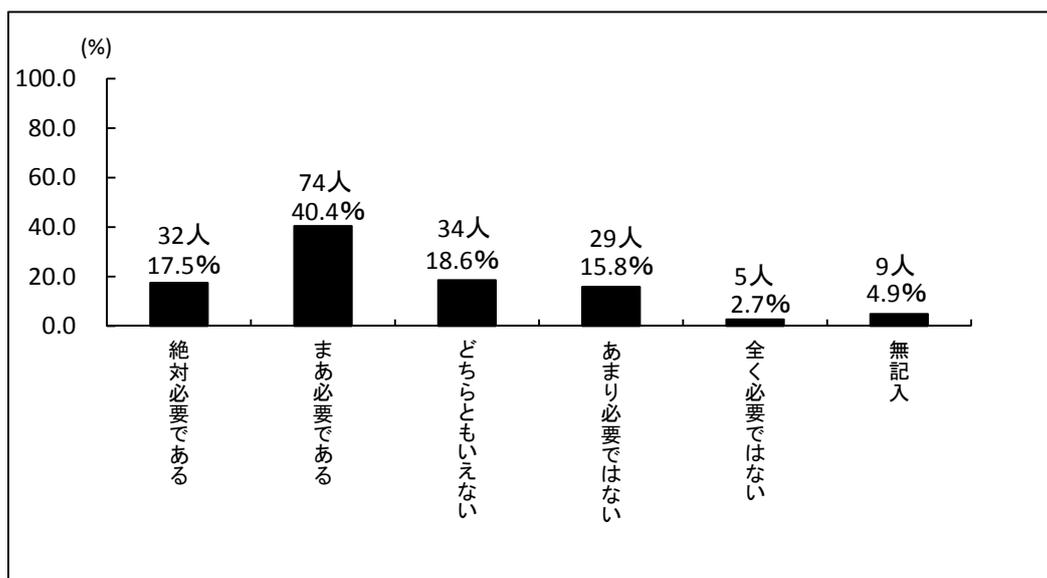


図 20 キャリア教育の必要性について

就職活動について

問 29～31 は就職活動をした人のみ回答（該当者 124 名）。

問 29 .就職活動にあたって、役に立った（重要だった）ものを順に2つ選んでください

（就職活動した学生のみ／2 項目選択）

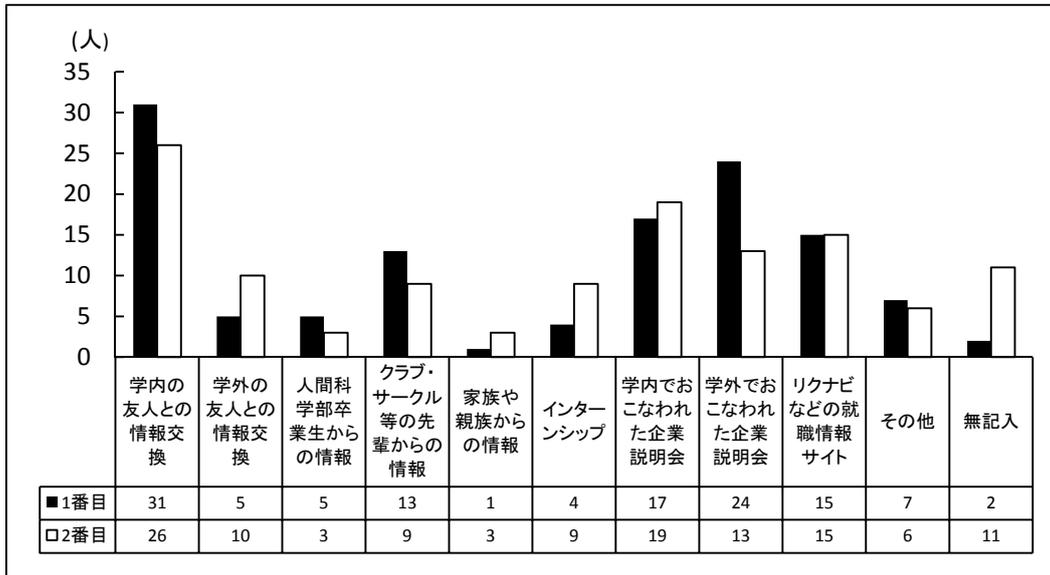


図 21 就職活動で役に立ったものについて

図 21 は就職活動における 9 の事項に関して、役に立った（重要だった）順に2つ選択してもらいグラフ化したものである。事項ごとに、黒の縦棒は1番目に選択、白の縦棒は2番目に選択した人数を示し、数を表記している。

問 30 .就職活動が一番忙しかった時期（就職活動した学生のみ）

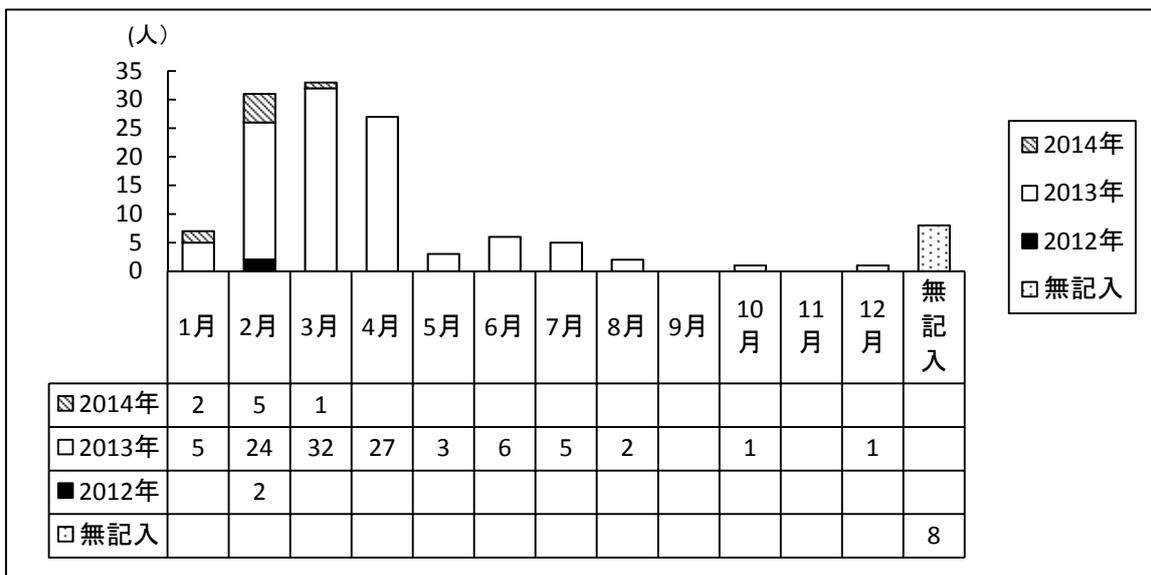


図 22 就職活動で忙しかった時期について

問 31 .就職活動と学業の両立に困難を感じたか（就職活動した学生のみ）

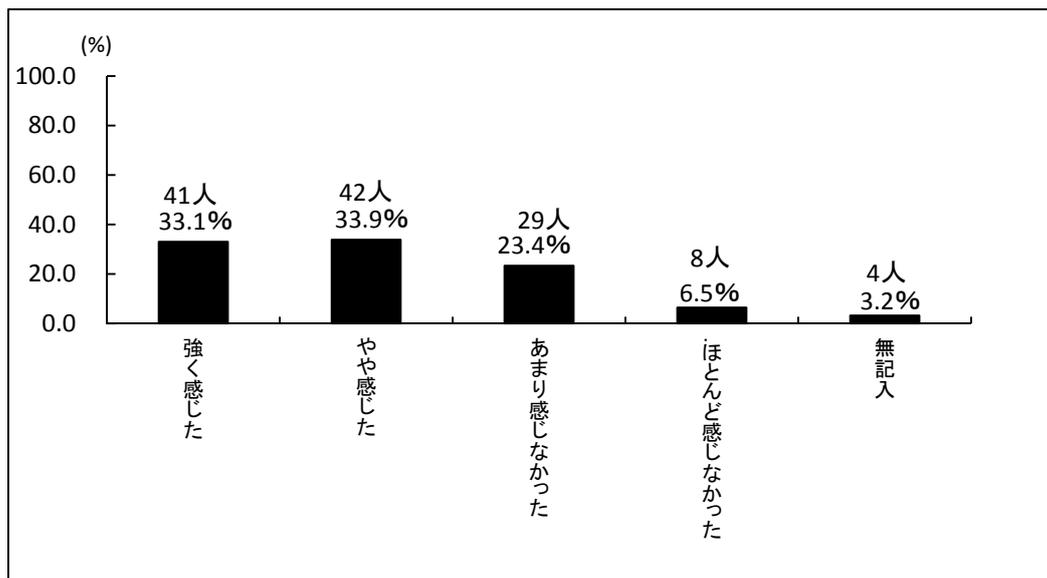


図 23 就職活動と学業両立の困難について

就職活動・進路指導・学生支援に対する要望について

問 32・33 は自由記述欄に記入された内容を記す。

問 32 .就職活動や進路決定を振り返ってみて、本学部・本研究科に希望する支援について

回答者 41 名

説明会・支援等についての要望

- ・ ES の書き方、説明会の受け方
- ・ ES の専門分野の説明について指導していただければありがたかったかもしれません。
- ・専門的に ES などを見てくれる人がいればよかった。相談にのってくれた人は優しかったけど。
- ・公務員の説明会。合格者体験談。
- ・公務員の専門職（心理系、福祉系など人科の強みを活かせるような区分）の試験に関する情報等
- ・公務員試験を受けた先輩と集まって話す機会があればいいなと思いました。
- ・公務員試験を受験しましたが、早い段階からの準備が必要でした。就活に向けての意識を、学部 1-2 回の頃からもう少し多く持たせて頂けるような支援があればと思います。
- ・国家総合職の試験対策や情報等が全くない。
- ・自分は公務員試験を受けたので、どんな勉強が必要かなど、学習支援をして欲しい。
- ・教採の過去問とか
- ・教員を目指す人の科目の授業（地歴等）がもっとあるといい。
- ・臨床心理士を目指すものにとっては、より臨床心理士として働くためのスキルアップの為の支援があるとよいと感じた。
- ・社会福祉士などの資格要件
- ・マスコミ関係の就職支援
- ・研究職への道筋の具体的な方法に関する講習

- ・もう少しどのような支援があるのか情報が得やすい形だとよい気がします。
- ・学部で学んだことを生かせる仕事をもっと知る機会があったらいいと思います。
- ・具体的にどのように就職活動をしたらよいか、どのような業種を目指していくか、一緒に考えてくれることがあればよかったです。
- ・専攻に関連する進路について知る機会
- ・実際にその職業に就いている方の話を聞く機会が一番欲しい（現在のOB紹介や座談会で足りていると思う）。
- ・社会人訪問などができるネットワーク。人科内での企業説明会（学内外を行ったり来たりするのが大変なため）。
- ・進路支援室の活用（もっと相談できる人が多い方がいいかも…）
- ・文章力をあげる機会を増やす。
- ・情報の提供
- ・首都圏での就職活動に配慮した情報の配布。
- ・学部の先輩との縦のつながりを強くできるような支援があると大変良いと思います。
- ・交通費の支援の強化
- ・交通費を一部でもいいので支給して欲しい
- ・交通費援助
- ・例えばマスコミ関連など、全国的に足をのばして就職活動をする際の、交通費支援など。私自身、JRの学割だけでは経済的に苦しかったため、10回分を使い切ってしまった。

OB・OGについての要望

- ・先輩との連携
- ・OB・OGから話を聞ける機会
- ・縦のつながりをしやすい体制（OB・OGの情報等…）
- ・OB・OG訪問ができることをもっと公にした方がいい。職場訪問ができればいい。
- ・OBやOGの進路例（どのように考え、その進路に進んだかを紹介してほしい）
- ・人科の卒業のわくにとらわれないOB・OGの話。
- ・卒業生と連絡がとれるように、より丁寧にサポートしてほしい。
- ・卒業生に来てもらう回数を増やす。

その他の要望

- ・首都圏での自習スペース
- ・ミニ卒論が就職活動の時期と完全に重なり、両立が困難であった。
- ・授業が「欠席」になってしまうのをどうにかしてほしい（補講など救済措置）
- ・小さな医療機関からの採用情報・公募情報のとりまとめ、及び仲介。地域の医師会などへの連絡案内。
- ・自身の研究分野のみでなく、他の関連する研究分野の知識を得る、または共同研究ができる様な環境。
- ・共に頑張る仲間

問 33 就職活動以外の面で、本学部・本研究科に希望する支援について

回答者 19 名

- ・ 課外活動が単位になる。授業への出席やペーパーテストでの評価のみではなく、学生一人一人の社会への貢献などを評価し、大学として支援する仕組みづくり。
- ・ 学部教育を見直して下さい。人科で何を学んだのか、わかりにくいのが難点です。
- ・ 領域横断的な Discussion Group の運営支援。助教レベルで枠組みを組織して、学生は自由参加。学界発表の予行や、研究シーズの育成を目的とするようなもの。
- ・ 相談窓口はあっても気軽に利用できない状況にあるので、そこを改善すべき。
- ・ 定期的に声を掛けてくれる教員
- ・ 先輩からの指導
- ・ 卒業生ともっとつながれるもの
- ・ 留学支援
- ・ 奨学金
- ・ 奨学金をもらえる人数が増やしていたほうが良いと思います。
- ・ KOAN の卒業判定システムを早く使用可能にしてください。修了者名簿を見るまで生きた心地がしません。
- ・ PC 設備をもっと多くして欲しい。
- ・ 心理学実験の被験者プールのようなもの
- ・ 女子寮を増やすこと！特に大学院生の為の寮が少ない。
- ・ カフェ的なものがあれば…売店とか。
- ・ ボランティア斡旋
- ・ バイト紹介
- ・ 学内連絡バス（再履バス）について、夕方以降、バス停に並んで待っていたのに、工学部で満載になって人科前からは乗せてもらえないことが数回あった。人科前でも待っている人がいることはわかっているはずなのに、工学部で限界まで乗せてくるのはどうなのか、又、そういったバスが発車時刻までそのまま目の前で停車しているのも配慮が足りないと思う。

本学部または本研究科に対する総合的な意見について

問 34 .総合的に判断して、本学部・本研究科は満足できるものでしたか

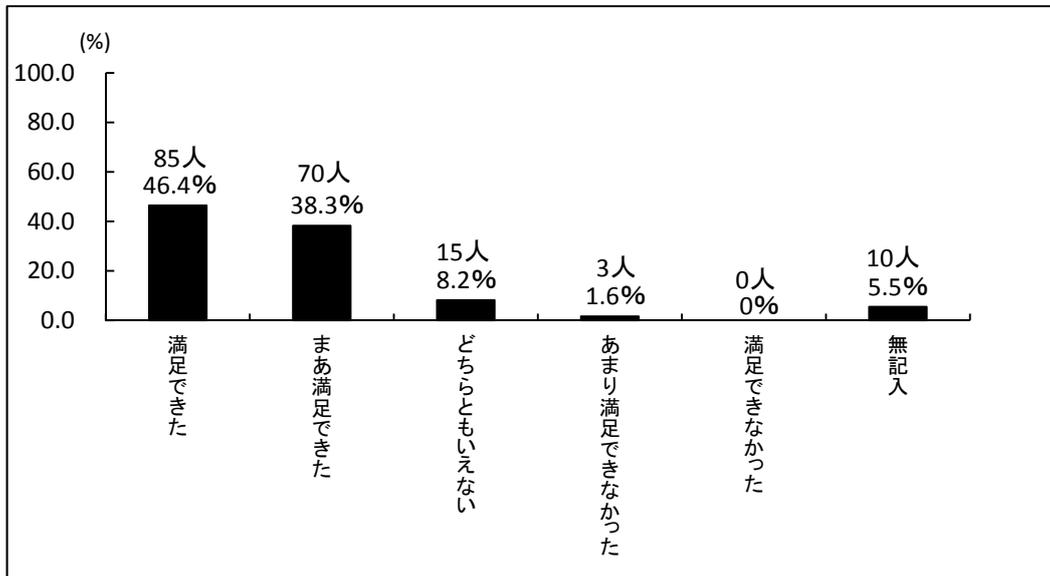


図 24 総合的な満足度について

問 35 .本学部・本研究科キャンパスの施設・設備は満足できるものでしたか

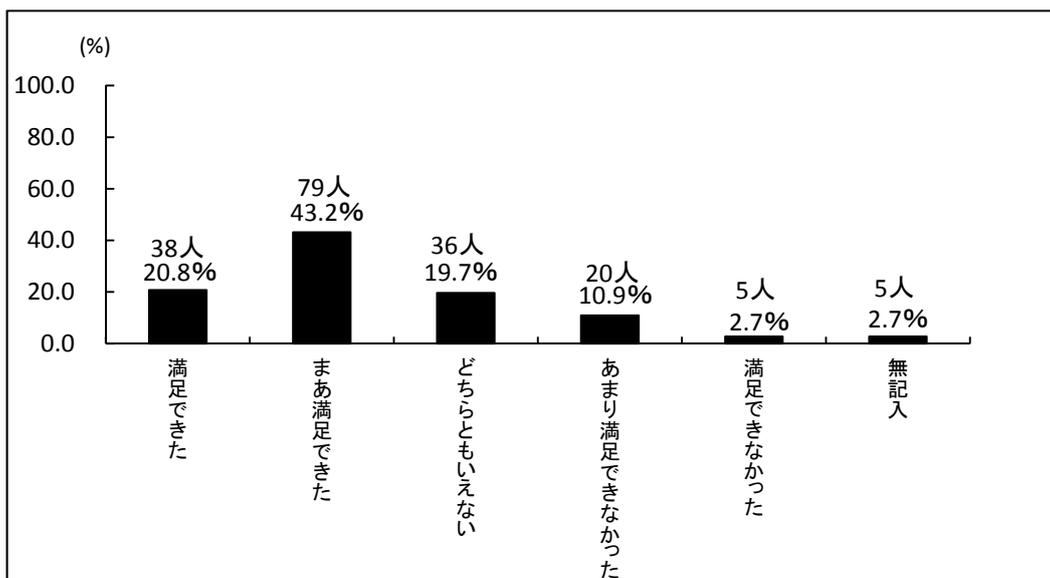


図 25 施設・設備の満足度について

問 36 .本学部・本研究科キャンパスサポート面は満足できるものでしたか

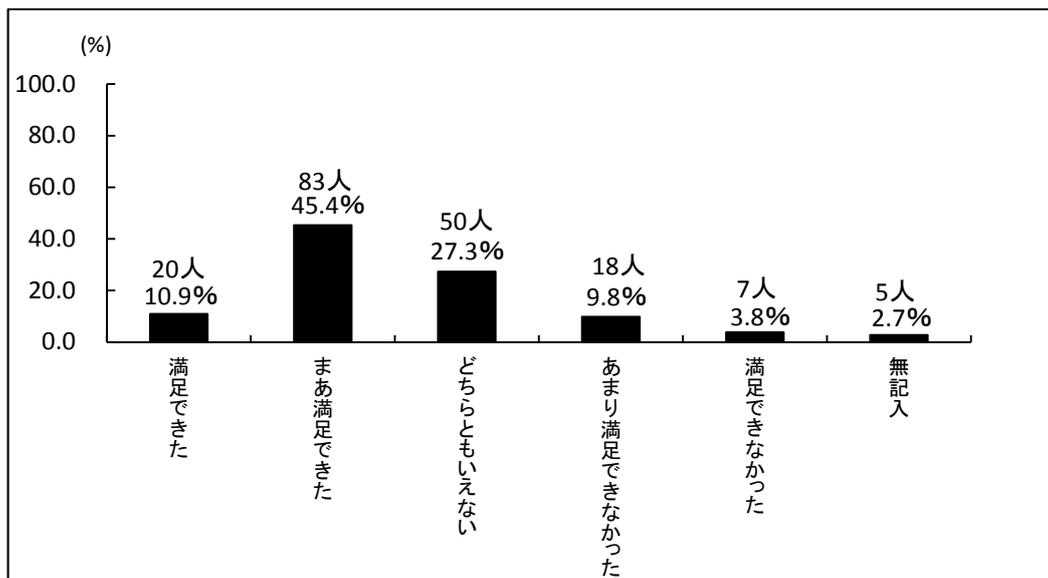


図 26 サポート面の満足度について

問 37・38 は自由記述欄に記入された内容を記す。

問 37 .本学部・本研究科キャンパスの施設・設備・サポート面で改善して欲しいこと

回答者 40 名

施設・設備についての要望

- ・ 図書室の開館時間の延長
- ・ 各図書館の開館時間が延びるとありがたいです。
- ・ 図書館の開館時間を延長して欲しい。土日祝も開けておいて欲しい。
- ・ 図書館の蔵書数をもっと多ければよかったです。
- ・ 図書室ならびに図書館の利用方法や蔵書数。研究のために必要な資料がやっぱり少なく困ることが多かった。
- ・ 図書館を拡充して欲しい。
- ・ 人科（に関わる）分野のレポートや論文を書くために、豊中や箕面の図書館に行く必要がありました（何度も）。人科図書館の書籍の中に4つの分野の基礎の専門書をもう少し多く置いて欲しいです。
- ・ 図書館をもっと明るい雰囲気にしてもらいたい。また、自習環境などがあるとより良い。
- ・ 図書室をもっと明るく入りやすくするべきだと思います。
- ・ 人科図書館をもっと活性化したらとても良いと思う。
- ・ 利用可能な時間・日・曜日をホームページなどで確認しやすくして欲しい。

- ・図書館の場所が分かり辛いらしく、たまに聞かれるので案内をわかりやすくした方が良いと思います。
- ・パソコンルームの設備ももう少し欲しかったです。
- ・パソコンの台数をもっと増やして欲しい。特に印刷ができるようにして欲しい。
- ・PC ルームにプリンターが欲しい。
- ・印刷できるようにして欲しい。
- ・wifi。プリンタをもっと色々なところで使えるようにもっと勉強できる所が欲しい。
- ・良いパソコンが欲しい。人科図書館の開館時間を長くして欲しい。
- ・吹田キャンパスで印刷できる場があった方がよいと思います。
- ・グローバル人間学専攻の学生用の院生室の数、設備。
- ・グローバル人間学だけ研究室がないのは不便だった。そのためコピー、印刷できる場所がほとんどなかった。
- ・グローバルの学生室が欲しいです。
- ・人科一階のインターナショナルカフェの活用方法を考えて欲しい
- ・教室が狭い
- ・暗室がもう少し欲しいです。
- ・生協等売店がより近くにあると嬉しいです。
- ・人間科学部に食堂があってもよいのではないかと思いました。あと、シャワー室も。
- ・食堂やシャワー室が欲しいです。
- ・カプセルホテルのような仮眠室があると助かる。
- ・シャワー室等が欲しい。
- ・自動販売機の充実

サポート面についての要望

- ・事務・教務系の方々のサポートがもっと欲しかったです。
- ・教務の仕事が事務的すぎて全く頼れなかった。サポートの仕組みをもっと増やすべきだし、教務の学生に対する姿勢を変えるべきだと思う。
- ・事務の時間が限られていて困る。就職支援室の担当はもっと現状の就活に詳しくいて欲しかった。
- ・事務の対応の改善。メールの返信は欲しい。
- ・事務方の動き（学生への通達内容、提出物の内容など）と教員の理解内容にズレ・ギャップが大きい。学生は両方からの一貫していない要求に従う必要がある場合があり、物理的・心理的なコストがムダに大きくなっている点がある。
- ・学系の事務の方の対応が横柄すぎる時がある。
- ・指導教員との相性が悪いときに、対応を考えて頂けるようにしてほしいと思いました（学業に実際に支障がありました）。相談にはのって頂いても、根本的に全く解決にならなくて我慢していました。
- ・学生支援室がどんなことをしてくれるのか分かりませんでした。
- ・演習・実験実習の質をもう少し平均化して欲しい（ばらばらすぎる？）

- ・キャンパス間バスの充実（院生は休日にもキャンパスに勉学のために来ます。全ての休日だけでなく、せめて学校行事などの時は欲しい）
- ・長期休みの間も学部間バスを、本数は少なくとも良いので、運行して欲しいです。
- ・学生はお金がありません。研究で出張などに行く際、その費用が2カ月も後に振り込まれたのでは、通常生活に支障が出ます。また、夜行バスでの移動が主になるのに、システムがそれに対応していないというのはおかしいと思います。改善を望みます。
- ・もう少し学生の生活リズムを考えて欲しい。

問 38 .本学部・本研究科に対する意見・感想について

回答者 24 名

- ・隣接領域とのコラボレーションを①教員（講師以上）、②助教・博士、③修士・学部生など、いくつかのレイヤーで実施（大型の研究プロジェクトなど）できるような支援を！一步、大学の外に出れば、単一領域の研究では、競争的助成金が獲得されにくい時代になりました。複合的人間科学の祖としてコラボ促進的なムーブメントを研究科内に巻き起こすことを期待します。大変お世話になりました。多謝。
- ・人間科学として何を学ぶか、各講義内容をもう一度、体系立てて下さい。各教員が「人間科学」とは関係のないことを教えるだけでは、大学の学部・研究科として成立しないと思います。
- ・授業の多くが、教授・講師が話しているだけで、面白みに欠けた。また、その分野を学ぶ意味・未来的展望をはっきり示さない授業が多く、少し物足りなかった。
- ・学部生の卒論も大勢の前で発表させた方が良い。学位に見合った能力であることを確かめて、恥ずかしい卒業生を出さないようにして欲しい。
- ・授業の開講科目が少ないと思いました。
- ・学際性を重視しているが、学科間での交流が少ない。
- ・金銭面の援助をして欲しい。工学部などに比べて、明らかに補助が少ない。同じ学費を支払っているのに不公平。
- ・このような場でまとめて聞くよりも、都度出てくる不満や意見に耳を傾ける機構やサービスを設ける方が、より有意義な意見を得られると思います。
- ・事務の対応改善。
- ・事務の方、もっと丁寧な対応をして欲しいです。
- ・教務の方がいつも親切・丁寧・迅速に対応してくださったことに、大変感謝しております。
- ・改装後、施設がかなり良くなったと思います。できるだけ現状を維持していただけると助かります。
- ・人科での授与式の場所（51 講義室）はどうにかならなかったのでしょうか。できれば、せいぜい空調の設定をどうにかすべきだと思いました。
- ・人間科学部で過ごした4年間は、人生の中でも忘れられない、かけがえのない時間となりました。ありがとうございました。
- ・先生方に感謝することばかりです。ありがとうございました。
- ・自由に何でもさせてもらえる楽しい学部でした。
- ・とても楽しい4年間でした。どうもありがとうございました。
- ・入ってよかったと思うことが多いです。ありがとうございました。

- ・大変お世話になりました。有難うございます。
- ・特にありません。お世話になりました。ありがとうございました。
- ・お世話になりました。ありがとうございました。
- ・お世話になりました。ありがとうございました。
- ・今までお世話になりました。ありがとうございました。
- ・とても楽しかったです。



平成26年3月
大阪大学大学院人間科学研究科
大阪大学人間科学部
評価委員会・学生支援室

2013年度

大阪大学大学院人間科学研究科修了生 及び 人間科学部卒業生の生活と意識に関する調査

このアンケートは人間科学研究科・人間科学部を修了/卒業しようとする皆さんを対象に行うものです。皆さんが過ごされた院生生活/学生生活を振り返り、日頃感じていたことを率直にお聞かせください。皆さんのご意見は今後の教育課程・教育内容・就職支援等の改善に役立てます。

あわただしい中で恐れ入りますが、よろしく御協力ください。アンケートは無記名で行います。回答は統計的に処理され、回答者を特定する事はございません。なお、調査結果は集計後、人間科学研究科/人間科学部 ホームページに掲載致しますのでご覧ください。

- (1) 回答は選択肢の中から当てはまる番号に○印をつけてください
(原則として○はひとつです)。

【例】 あなた自身についてお答えください。

- ① 人間科学部 卒業
2. 大学院人間科学研究科博士前期課程 修了
3. 大学院人間科学研究科博士後期課程 修了

- (2) 選択肢ではなく、空欄に記入していただく質問もあります。

回答したアンケートは退出時に出口で提出してください。



最初にあなた自身についてお教えてください。

問 1

1. 女性
2. 男性

問 2

1. 人間科学部 卒業
2. 大学院人間科学研究科博士前期課程 修了
3. 大学院人間科学研究科博士後期課程 修了

問 3

1. 先端人間科学 所属
2. 行動学 所属
3. 社会学 所属
4. 人間学 所属
5. 教育学 所属
6. グローバル人間学 所属
7. ボランティア人間科学 所属

問 4

1. 民間企業 就職内定
2. 官公庁 就職内定
3. 大学院 進学決定
4. 未定
5. その他（具体的に： _____）

つぎに、あなたの学生生活または院生生活についてお教えてください。

問 5 入学のときに本学部または本研究科を選んだ理由は何ですか（〇はいくつでも）。

1. 学部・研究科の理念に共鳴したから
2. 自分の学力に合致していたから
3. 関心のある分野があったから
4. 魅力のある先生がいたから
5. オープンキャンパスで関心を持ったから
6. 通学に便利だから
7. 就職に有利だから
8. 授業料が安いから
9. その他（具体的に： _____）

問 6 入学前に人間科学部のオープンキャンパスに参加しましたか。

1. 参加した
2. 参加しなかった

→学部卒業の方は次の問 7 へお進みください。

大学院修了の方は問 9 へお進みください。

問 7（学部卒業生のみご回答ください）

あなたは学科目を決める時、十分な情報を与えられたと思いますか。

1. 十分与えられた
2. まあ与えられた
3. あまり与えられなかった
4. 全然与えられなかった

問 8（学部卒業生のみご回答ください）

学科目を選択した理由は、つぎのどれでしたか（〇はいくつでも）。

1. 学びたい内容の研究分野があったから
2. 魅力のある先生がいたから
3. 就職を考えて
4. 楽しそうだから
5. 希望した学科目にいけなかったから
6. 友人の影響で
7. 自由な時間が多そうだから
8. その他（具体的に： _____）

問 9 学生生活または院生生活の中で、あなたはつぎの活動について、それぞれどの程度力を注いでいましたか。

	非常に力を注いだ	まあ力を注いだ	どちらともいえない	注がなかった	あまり力を注がなかった	力を注がなかった	該当しない
a. 授業	1	2	3	4	5	6	
b. 卒論・修論・博論	1	2	3	4	5	6	
c. 自主学習	1	2	3	4	5	6	
d. 研究会・読書会	1	2	3	4	5	6	
e. 就職活動	1	2	3	4	5	6	
f. 資格試験準備	1	2	3	4	5	6	
g. クラブ・サークル活動	1	2	3	4	5	6	
h. アルバイト	1	2	3	4	5	6	
i. レジャー	1	2	3	4	5	6	
j. 社会活動 (ボランティア等)	1	2	3	4	5	6	
k. 大学または学部の 自治会	1	2	3	4	5	6	

→学部卒業の方は次の問 10 へお進みください。
学部編入された方は問 15 へお進みください。
大学院修了の方は問 16 へお進みください。

全学共通教育（豊中キャンパス）の
カリキュラムについて意見をお聞かせください。

問 10（編入生を除く学部卒業生のみご回答ください）
「教養教育科目」はカリキュラムとして必要だと思いますか。

1. 絶対必要である
2. まあ必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない

問 11（編入生を除く学部卒業生のみご回答ください）
「外国語教育科目」はカリキュラムとして必要だと思いますか。

1. 絶対必要である
2. まあ必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない

問 12（編入生を除く学部卒業生のみご回答ください）
「情報処理教育科目」はカリキュラムとして必要だと思いますか。

1. 絶対必要である
2. まあ必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない

問 13（編入生を除く学部卒業生のみご回答ください）
「健康・スポーツ教育科目」はカリキュラムとして必要だと思いますか。

1. 絶対必要である
2. まあ必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない

問 14（編入生を除く学部卒業生のみご回答ください）
「専門基礎教育科目」はカリキュラムとして必要だと思いますか。
（統計学A-I、統計学A-II、数学A、数学B）

1. 絶対必要である
2. まあ必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない

専門課程（吹田キャンパス）の
カリキュラムについて意見をお聞かせください。

問 15（学部卒業生のみご回答ください）
「実験実習」の卒業に必要な単位数についてどう思いますか。

1. もっと増やすべき
2. もう少し増やすべき
3. 現状のままでよい
4. 減らすべき
5. 無くすべき

問 16「講義」の卒業に必要な単位数についてどう思いますか。

1. もっと増やすべき
2. もう少し増やすべき
3. 現状のままでよい
4. 減らすべき
5. 無くすべき

問 17「演習」の卒業に必要な単位数についてどう思いますか。

1. もっと増やすべき
2. もう少し増やすべき
3. 現状のままでよい
4. 減らすべき
5. 無くすべき

問 18 卒業する為に、卒業論文または修士論文が必要になっていることについてどう思いますか。

1. 絶対必要である
2. まあ必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. 全く必要でない

問 19 卒業に必要な総単位数は適量だと思いますか。

1. 多い
2. やや多い
3. 適量
4. やや少ない
5. 少ない

問 20 本学部または本研究科で身に付いたことは何ですか（〇はいくつでも）。

1. 専攻分野の専門的な知識
2. 専攻分野以外の専門的な知識
3. 一般教養
4. 語学力
5. IT スキル
6. 仕事に役立つ実践的な知識・技能
7. 対人関係を調整する能力
8. ものごとを柔軟に考える能力
9. 社会的弱者に対する深い理解
10. 国際感覚と異文化に対する理解
11. その他
(具体的に：)

問 21 本学部または本研究科でもっと身に付けられると良いと思うことはどれですか（〇はいくつでも）。

1. 専攻分野の専門的な知識
2. 専攻分野以外の専門的な知識
3. 一般教養
4. 語学力
5. IT スキル
6. 仕事に役立つ実践的な知識・技能
7. 対人関係を調整する能力
8. ものごとを柔軟に考える能力
9. 社会的弱者に対する深い理解
10. 国際感覚と異文化に対する理解
11. その他
(具体的に：)

つぎにインターンシップについてうかがいます。

問 22 在学中、インターンシップに参加しましたか（大学で実施した以外も含めてお答えください）。

1. 参加した
2. 参加しなかった

→参加した方は問 23 へお進みください。
それ以外の方は問 28 へお進みください。

問 23（参加した方のみご回答ください）
いつ参加しましたか（〇はいくつでも）。

1. 一年次
2. 二年次
3. 三年次
4. 四年次
5. 修士一年次
6. 修士二年次

問 24（参加した方のみご回答ください）
どのくらいの期間でしたか（〇はいくつでも）。

1. 数日程度
2. 1～3週間程度
3. 1ヶ月以上

問 25（参加した方のみご回答ください）
受入先について、あてはまるものに〇をしてください（〇はいくつでも）。

1. 一般企業
2. 官公庁
3. 非営利団体

問 26（参加した方のみご回答ください）
インターンシップ授業（インターンシップA 等）は履修しましたか。

1. 履修した
2. 履修しなかった

問 27（参加した方のみご回答ください）
インターンシップは就職活動や進路決定に役立ちましたか。

1. とても役に立った
2. まあ役に立った
3. どちらともいえない
4. あまり役に立たなかった
5. まったく役に立たなかった

問 35 本学部・本研究科キャンパスの施設・設備は

満足できるものでしたか。

例) 講義室・図書室・実験施設・
サイバーメディア室等

1. 満足できた
2. まあ満足できた
3. どちらともいえない
4. あまり満足できなかった
5. 満足できなかった

問 36 本学部・本研究科キャンパスのサポート面は

満足できるものでしたか。

例) 事務・学生支援・就職支援等

1. 満足できた
2. まあ満足できた
3. どちらともいえない
4. あまり満足できなかった
5. 満足できなかった

問 37 本学部・本研究科キャンパスの施設・設備・

**サポート面で、改善して欲しいことがあれば具
体的に記入してください。**

問 38 人間科学部・人間科学研究科に対するご意見・ご感想ございましたら、ご自由にお書きください。

アンケートのご協力ありがとうございました